



学院中だより

(9号)

令和4年3月18日 文責 上野由紀夫

感動いっぱい卒業式をありがとう



令和3年度も保護者の皆様のおかげで、無事終了しようとしています。昨日は、興誠学園柳川樹一郎理事長、今釜伸也 PTA 会長のご臨席の中、卒業証書授与式を行うことができました。卒業生が卒業証書を受け取る表情、メッセージにたのもし成長を感じることができました。在校生とともに素晴らしい態度で臨むことができ、素晴らしい式典となりました。式辞、送辞、答辞の概要を紹介します。

「比べるのは他人とではなく、昨日と今日と明日の自分」

人間はとかくまわりの人と比べ、時に落ち込んだり悩んだりします。しかし、自分の個性は他の人にはない自分だけのものです。大切なことは、自分が今、自分の足で一步一步希望を持って前へ前へと進み、自分自身の花を咲かせることです。昨日から一日分成長した今日の自分になること。明日はまた今日から少し成長していくように、自分自身としっかり向き合って日々少しずつ成長してくれることを期待しています。

送辞(抜粋)在校生代表 守山ひかり

私たち 在校生は、いつも一緒だった、優しく頼れる先輩方の卒業が、こんなにも早く訪れてしまうのかと、信じられない気持ちで、寂しさがこみあげています。

思い起こせば、先輩方との最初の出会いは学校生活の中にありました。私たちが入学した頃、新型コロナウイルス感染症がまん延し始めていました。入学して間もない私たちは、これからの生活がどうになってしまうのか、不安と緊張が高まるばかりでした。そのような中、廊下ですれ違った時には、先輩方に温かく声を掛けていただきました。

また、部活動においても、何も知らない私たちに、優しく丁寧に接して下さり、次第に不安と緊張がほどけていくのを感じました。先輩方のことを尊敬し、頼もしい存在だと改めて感じたのは学校行事です。

何事にも全力で取り組んでいる先輩方の姿を見て、感動した体育祭。真剣な表情で競技に臨み、自分が出番ではない時にも、クラスメイトを、声の限り応援していました。この時、先輩方の強い団結力を感じました。縦割りのチームで行われた、球技大会。試合が劣勢になった時でも、明るく声を掛けてくださったことを覚えています。先輩方と時間を共に過ごすことの喜びと幸せを感じることができました。

4月から先輩方はそれぞれ新しい環境に進んでいけます。高校生活では、楽しいことだけではなく、時には迷ったり、辛いこともあったりするかもしれません。そんな時は、浜松学院中学校で過ごした3年間のことを、思い出してください。どのような困難があったときにも、友達と励まし合い、乗り越えたこと。高校受験に向けて、必死に勉強したこと。仲間達と共に過ごした、かけがえのない日々。この浜松学院中学校で先輩方は多くのことを経験し、学んでこられました。これらの学びが先輩方にとって、新たな一歩を踏み出す原動力になることを 私たちは願っています。いよいよお別れの時となりました。私たち在校生は、先輩方が築かれた素晴らしい伝統を受け継ぎ、悔いのない学校生活を送ることができるように、より一層努力いたします。





卒業という瞬間を迎えてこの3年間の思い返すと、思い出が止めどなくあふれてきます。

1年生。今では着慣れたこの制服に、初めて袖を通して迎えた入学式。鏡に映る自分は少しだけ大人びて見え、中学生になったことを実感しました。新入生宿泊研修では、様々なことができました。カレーを作ったこと、みんなでダンスを踊ったこと、ケンカをしたこと、仲直りをしたこと。クラスの絆が深まった研修になりました。

2年生は変化の年でした。コロナウイルス感染症の影響で私たちの生活は一変しました。学校で授業をすること、友人と話をしながら楽しくお昼ご飯を食べること、仲間とバスケットボールをすること。当たり前に行っていた学校生活、日常生活が制限されたことで、それらがかけがえのないものであったことに改めて気付くことができました。また、私たちは後輩を迎え、先輩になりました。先輩と後輩の間に立ち、自分たちも学校を動かしていくのだと実感し、身の引き締まる思いがしたことを覚えています。先輩方の卒業式では、一学年しか変わらないとは思えないほど凜とした姿に、「こんな風になりたい」と憧れを強くしました。今日の私たちは、少しでもあの日の背中に近づけているのでしょうか。

3年生。最上級生として自覚をもって行動しなければならないと思い、日々を過ごしました。生徒会では中村前生徒会長の目標である、「笑顔あふれる学校作り」の目標に向かって活動をしました。副会長として参加する学校行事は大変ではありましたが、それ以上に楽しいものでした。後期の二年生主体の行事では、私たちの理想を体現しつつ、そこに団結力を加えた姿を感じました。私達の自慢の後輩です。進路についてはみんながそれぞれ、たくさん悩みました。しかし、考え抜いて選んだ自分の道に自信を持ち、突き進んで行きます。楽しい時間が過ぎるスピードは本当に速く、あっという間に今日になってしまいました。在校生の皆さん。学年の垣根を越えた団結力が浜松学院中学校の魅力のひとつです。これからも、生徒会を中心に全員でよりよい学校作りをしていってください。

女子バスケットボール部の後輩の皆さん。自分に自信がない私は、後輩達を引っ張っていくべき立場であったのに、自分のことばかりで、ごめんね。素直に意見をぶつけ合ってチーム一丸となることができるみんなならば、私たち以上の成績を残してくれると思っています。

クラスみんな。ケンカをして、口を聞きたくないと思った日も、顔を合わせたくないと思った日もありました。でも、このクラスでしか出せない空気や雰囲気がとても大好きです。笑いすぎて怒られたこと、ケンカの後仲直り、クラス一丸となつての悪ふざけも今ではよい思い出です。来年からはそれぞれの道を歩むこととなりますが、このクラスで過ごしたかけがえのない日々を忘れないでください。3年間、本当にありがとう。

先生方。たくさんご迷惑をおかけしましたが、私たちの個性を伸ばし、包み込むような指導をしてくださり、ありがとうございました。

そして、ここまで、私達を育ててくれた保護者のみなさま。思春期で反抗してしまうこともありました。心の中では、感謝と尊敬をいつも持っています。この場を借りてお礼させてください。「本当にありがとうございました。こんなわたしたちですが、これからも側にいてください。よろしくお願いします。」

最後になりますが、今一度、私たちを大切に育ててくださった、全ての皆様に感謝するとともに、今後の浜松学院中学校の更なる発展を祈念しまして、答辞とさせていただきます。

